



2学期終わり 楽しい冬休みを！



今日で2学期が終わり、明日から冬休みです。クリスマス、お正月と続くので、子どもたちも楽しみにしているようです。2学期は81日の登校日数でした。8月に台風接近による2日間の臨時休校がありましたが、そのほかは予定どおりに、体育大会や立花フェスタをはじめとする行事や、様々な教育活動を行うことができました。それらの活動を通して、子どもたちの“いい顔・いい声・いい行動”をたくさん見ることができたことをとてもうれしく思っています。



今日は、朝の時間に2学期終業式を行いました。インフルエンザ感染拡大防止を考え、リモートに切り替えて行いました。

校長の話では、2学期始業式に示した、「一生懸命」「精いっぱい」「全力を出す」の2学期を過ごせたか、中でも、5つのこと（あいさつ・いのち・運動・笑顔・思いやり）で、相手の、自分自身の“心が動く”行動ができたかどうかを振り返るよう投げ掛けました。

体育大会や持久走記録会では、保護者の方に「感動した」「カッコよかった」との感想を多く寄せていただきました。そのときのような“豊かな心”が伝わる姿を3学期にも期待して話しました。



その後、“豊かな心”をもって、善悪の判断をしっかりしてほしいという思いから、「お天道様が見ている」を取り上げました。

～私が小学生のとき、担任の先生から「誰も見ていなくても、ちゃんとお天道様が見とらすとよ」とたびたび聞かされていました。その話を聞いて、誰も見ていないからと、悪いことやずるいことはしてはいけないと思うようになったことを覚えています。～

お天道様とは、“太陽”のこと、“神様”に置き換えられることも

知らせ、「たとえ誰も見ていなくても、空の上の太陽はあなたの行動を見ていますよ」「どんなときでも神様があなたの行動を見ていますよ」という意味で、「誰も見ていないからといって、態度を変えたり悪いことをしたりすることはいけない」という教えであることを伝えました。善い行いをするときに使われることにも触れました。

また、「お天道様」は“自分自身”でもあると話しました。

正直さにしてもずるさにしても、自分の心はその行動をしっかり分かっている、覚えている。人目を盗んでずるいことや悪いことをするのか、人の目がいないところこそ努力を重ねるのか。結果として返ってくるのも自分自身であるということも分かってほしいと思いながら話しました。弱い心が出そうになったときに、「お天道様が見ている」を意識して、弱い心に負けない立花の子であってほしい、そういう願いをもって話しました。



保護者・地域の皆様、今年も学校行事や育友会活動に多大なご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで大きな事件や事故もなく、無事に年の瀬を迎えることができました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

よいお年をお迎えください。



【1月主な行事予定】

- 1(月)● 元日(祝日)
- 8(水)第3学期始業式
※給食なし 11:50 下校
- 13(月)● 成人の日(祝日)
- 16(木)伊中校区特別支援学級
小中交流会
- 19(日)5年分会行事(もちつき)
- 20(月)委員会活動(5,6年生)
- 21(火)授業参観
〃 青少年健全育成講演会
- 23(水)地震等避難訓練
- 24(金)給食週間 ～30日
- 27(月)クラブ活動(4～6年生)
〃 クラブ活動見学(3年生)
- 29(水)全校朝会